



あかり木通信

2014年6月号
あかり木診療所

わけ① 待合室にたたみがある理由

診療所の待合室にたたみはめずらしいかもしれませんが、小さなお子さまが、つみ木や絵本などでドキドキせずには順番を待っていただけるように。いすに座っていることもつらい方が、少し体を横にしていただけのように。赤ちゃんのお世話や荷物の多いお母様方に、気がねせずに使っていただけるように：。いろいろな思いがあります。せまいスペースですので、お子さまにはもの足りず、いすとたたみを行き来することもありますが、たたみの用途を考えていただき、お子さまをお連れの方はなるべくお子さまと寄り添ってお待ちいただければと思います。安全や他の方にも配慮してお過ごしください。「たなの上にのぼらない」「おもちゃをたなの上にのせない」「読まない本を落とさない」…これは守ってください。

わけ② 検査や薬にケちな理由

インフルエンザの流行時に「インフルエンザの検査をしてもらえますか」の問い合わせをたくさんいただきます。もちろん、診療所ではインフルエンザの判定をする検査は行っています。しかし、問い合わせのあった方に検査をするかどうかは、診察をした結果必要だと判断したときに行うもので、答えに困ってしまいます。不必要な検査はからだの負担になるだけで、何のメリットもありません。同様に、不必要な投薬もからだの負担になるだけと考えますので、自分の持っている力だけで良くなると判断したときには、薬はありません。また、電話だけで症状の判断や薬の処方を頼まれる場合がありますが、電話では正確に診察できませんので、適切な薬を処方することはできません。

わけ③ 院内処方の理由

病院で薬が処方される場合、最近では病院で処方せんを発行してもらい、それを持って薬局に行って薬を受け取るという院外処方が主流です。病院は、薬の待ち時間がない分混雑が少ないかも知れませんね。あかり木診療所では、近頃にはめずらしく院内処方になっています。理由のひとつには、近くに薬局がないという立地の問題もありますが、他にも次のようないくつかの利点があるからです。①診察室で実際の薬を見て服用できるか確認してもらったり、使い方を覚えてもらったりすることができ、②受付で薬を渡したときに医師の説明が必要な疑問が生じた場合、すぐに対応できる（次の人を診察中の場合にはお待ちいただけます）③具合が悪いときに、診療所の帰りに薬局に足を運ばなくてすむのですぐに帰宅できる。あかり木診療所では、診察後すみやかに正確に薬の準備ができるように、小さな診療所ですが、大きな機械を導入しています。院内処方をしていると、他の病院で発行された処方せんを持ってこられる方や、診察を受けずに受付で「薬だけ」とおっしゃる方もいらっしゃいますが、あかり木診療所は薬局ではありませんので、診察を受けた方にお薬をお渡しするところをご理解ください。また、薬の内容によっては院外処方になることもありますのでご承知おきください。

簡易睡眠検査

大きないびきをよくかく、夜中に何度も目が覚める、あさ起きたときにだるさが残る、日中眠くなる…このような症状の方の中に、「睡眠時無呼吸低呼吸症候群」の方がいるかもしれません。あかり木診療所では、簡易睡眠検査を導入しました。これは、寝ている間の呼吸の状態を検査する小型の機器を1晩お貸しして、自宅で自分で睡眠中に装着して検査するものです。心当たりのある方はおたずねください。